

# 令和3年度地方創生関連交付金に係る効果検証

## 1 地方創生推進交付金

【目的】 地方創生のさらなる進化のため、本交付金を活用し、自治体が地方版総合戦略に位置付けて実施する先導的な複数年度の取組を支援。

【交付率】 2分の1以内

【要件】 しごとの創生、地方への人の流れ、働き方改革、スポーツ・健康まちづくり等に関する、主にソフト事業が対象。

○令和3年度国の当初予算

交付金	事業名	総事業費	交付金	備考
推進交付金 (1/2)	リラックスサーフタウン日向活力創出プロジェクト (観光計画の策定、ワーケーションオフィス調査等)	23,224,950	11,612,475	R2採択
	合計	23,224,950	11,612,475	

## 2 地方創生道整備推進交付金

【目的】 地域再生法に基づき、地域における就業の機会の創出、経済基盤の強化又は生活環境の整備のための基盤となる施設の整備のうち、地方版総合戦略に位置づけられたものに対して支援。

【交付率】 2分の1以内

地方公共団体作成の地域再生計画に基づき、以下の対象分野ごとに、省庁の所管を超えた2種類以上の施設を一体的に整備する事業に対して支援。

【要件】 [交付金の対象分野]  
道（市町村道、広域農道、林道）、污水处理施設（公共下水道、集落排水施設、浄化槽）、  
港（重要港湾（特定有人国境離島地域に位置するものに限る）又は地方港湾、第1種漁港又は第2種漁港）

○令和3年度国の当初予算

交付金	事業名	総事業費	交付金	備考
道整備 交付金 (1/2)	人と自然の地域力！ 「木」が「喜」になるまちづくりプロジェクト (市道 福士線改良、林道 横瀬広瀬線開設等)	135,660,840	67,575,000	R3採択
	合計	135,660,840	67,575,000	

○令和2年度国の当初予算のうち、令和3年度への繰越した事業について追記して報告

交付金	事業名	総事業費	交付金	備考
道整備 交付金 (1/2)	元気で活力ある産業が育つまちづくり計画 (市道 蕨野稲葉野線改良、林道 横瀬広瀬線開設等)	149,491,310	74,182,500	H27採択
	合計	149,491,310	74,182,500	

令和3年度 地方創生関連交付金事業

【交付金種別】地方創生推進交付金

NO		交付金対象事業名称	事業目的・概要								
1		リラックスサーフタウン日向活力創出プロジェクト	南北約4kmにわたる「お倉ヶ浜」や「金ヶ浜」には、良質な波が1年を通じて打ち寄せることから、全国のサーフィン愛好者の間で「サーフィンの聖地」として注目を浴びている。 平成29年9月にアジアで初となる「I S A世界ジュニアサーフィン選手権」を開催したノウハウを生かし、国際大会を継続して開催するなど、国内外へ知名度の向上を図り、サーフィン客の誘客を図る。 また、サーフィンを目的とした移住者も多く、地域活動等を通じて地域活性化の一翼を担っている。 交付金を活用して、サーフィン・海を核に、その他の地域資源を組み合わせ合わせたコンテンツ造成などにより観光消費額の増加を目指すとともに、都市部での移住セミナー等を開催し、新たな地域の担い手となるサーフィン移住の増加を目指す。								
総合戦略の位置づけ											
戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり											
事業開始		事業終期									
令和2年4月		令和7年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1		体験型観光の企画及び計画立案（観光交流課）	3,978,150	3,978,150	1,989,075	1,989,075	日向市ポストコロナ観光戦略の策定				
2		サーフィン等ビーチ環境の魅力発信（観光交流課）	5,288,800	5,288,800	2,644,400	2,644,400	ビュー日向ホームページによる魅力発信（Instagramを含む）				
3		サーフィン国際大会World Surf League QS3000、JQS Fainalの開催費用（観光交流課）	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止				
4		ビーチの多面的利用の促進（観光交流課）	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止				
5		ワーケーションオフィス調査費用（商工港湾課）	13,948,000	13,948,000	6,974,000	6,974,000	日向市ワーケーションオフィス調査業務				
6		サーフィン移住促進（総合政策課）	10,000	10,000	5,000	5,000	サーフィン移住セミナーの開催				
合計（円）			23,224,950	23,224,950	11,612,475	11,612,475					
重要業績評価指標（K P I）			単位	事業開始前	K P I	R2年度	R3年度	R 4年度	R5年度	R6年度	増加分累計
1		サーフィン等利用客数（暦年）	人	253,592	目標値	10,000	12,679	21,556	11,855	12,448	68,538
					実績値	△ 72,112	△ 125,177				△ 197,289
2		年間観光消費額	百万円	2,497	目標値	80.00	2,122.88	212.29	212.29	220.00	2,847.46
					実績値	△ 910.17	△ 653.00				△ 1,563.17
3		「地方コト消費型」観光メニュー開発数	件	1	目標値	2	3	7	9	12	33
					実績値	0	0				0
4		移住促進事業による移住者数(累計)	人	237	目標値	40	100	100	100	100	440
					実績値	177	189				366
事業効果	地方創生に非常に効果があった	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画されていたイベントがコロナ禍により相次いで中止となるなか「ビュー！日向」HPで継続した情報発信を行った。</li> <li>「ワーケーション」について、サーフスポットに隣接する商業施設を利用した「ワーク」とサーフィン体験などの「パッケージ」を組み合わせた実証実験を、都市圏のIT関連企業を対象として行い、高い評価を得た。</li> <li>オンラインでのサーフィン移住セミナーを開催した。継続した取組により移住相談件数及び移住者数ともに増加している。</li> </ul>									
今後の方針	事業の継続	これまで、ビュー日向ホームページを中心とした情報発信やサーフィンの世界大会の開催、ビーチ環境を活かした新たなイベントを展開してきたことでサーフタウンとして認知され、観光関連施設の民間投資も増加している。 本事業は、本市の大きな強みである「海」を活用したものであり、今後も観光客や移住希望者、リモートワーカーのニーズの分析や情報収集し対応していくことで更なる「サーフタウン日向」のブランド価値の向上に努めていく。									
評価	令和2年度に続き、令和3年度もコロナ禍により、感染防止対策の一環として海水浴場を一部閉鎖するなどしたため、サーフィン利用客数や観光消費額が落ち込んだが、本市の恵まれた海岸環境をサーフィンを軸にPRを継続してきたことで、サーフタウンとして知名度、認知度が高まり、関連した観光施設の民間投資が増え、ワーケーションの先進地としても注目されている。 今後も継続してPRすることで更なる交流関係人口及び移住人口、観光消費額の増加が期待される。										

令和3年度 地方創生関連交付金事業

【交付金種別】地方創生整備推進交付金

NO		交付金対象事業名称	事業目的・概要								
2		人と自然の地域力！ 「木」が「喜」になるまちづくりプロジェクト	本事業は、市道・林道の一体的な整備により、林業生産コストの削減を図り森林整備事業の促進につなげ、また、集落間のアクセス改善や災害時におけるバイパス道路の確保により観光施設のネットワーク化や居住環境の魅力向上を図ることを目的としている。 市道整備については、拡幅等により見通しの改善や離合場所の確保を図り、通行の安全性を考慮した道づくりを進めている。 林道整備については、森林施業の効率化や迂回路としての役割を果たす新規路線の開設や、路面の洗掘等を防止し通行の安全を確保するため既設林道の舗装を行っており、令和3年度からの新たな地域再生計画においても前計画の計画路線を引き続き整備を行っている。 また、令和4年3月30日には路網の機能保全のため、事業路線(林道下渡川・日の平線：橋梁補修)を追加変更認可を受けている。								
		総合戦略の位置づけ									
		戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり									
	事業開始	事業終期									
	令和3年4月	令和8年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	地方創生道整備推進交付金事業 東郷橋・田野線(交付金)道路改良事業		1,710,000	1,700,000	850,000	860,000	測量・設計委託 一式				
2	地方創生道整備推進交付金事業 福士線(交付金)道路改良事業		10,476,840	10,300,000	5,150,000	5,326,840	測量・設計委託 一式、用地買収 1件(124㎡)、道路改良工事(拡幅) L=22m				
3	地方創生道整備推進交付金事業 林道長迫・小原線改良事業(県営改良事業)		27,150,000	27,150,000	13,575,000	13,575,000	林道舗装工事(県営事業) L=902m				
4	地方創生道整備推進交付金事業 林道西林・神陰線開設事業(県営開設事業)		70,000,000	70,000,000	35,000,000	35,000,000	林道開設工事(県営事業) L=148m(予定):R4線越事業				
5	地方創生道整備推進交付金事業 横瀬・広瀬線(交付金)林道改良事業		18,224,000	18,000,000	9,000,000	9,224,000	林道開設工事 L=82m				
6	地方創生道整備推進交付金事業 熊山線(交付金)林道改良事業		8,100,000	8,000,000	4,000,000	4,100,000	測量委託 一式、林道舗装工事 L=305m				
合計			135,660,840	135,150,000	67,575,000	68,085,840					
重要業績評価指標(KPI)			単位	事業開始前	KPI	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	増加分累計
1	林道西林・神陰線起点側工事箇所から木質バイオマス工場まで	分	49	目標値	48	46	45	42	42	223	
				実績値	48				48		
2	林道横瀬・広瀬線終点から木質バイオマス工場まで	分	31	目標値	30	29	28	27	26	140	
				実績値	29				29		
3	林道長迫・小原線美郷町境から木質バイオマス工場まで	分	23	目標値	22	21	20	20	20	103	
				実績値	21				21		
4	林道熊山・市道松尾1号線から木質バイオマス工場まで(合計)	分	86	目標値	86	85	85	84	79	419	
				実績値	86				86		
事業効果	地方創生に効果があった	全ての指標について評価の目標値を達成しており、一定の事業効果は発揮出来ている。 特に、林業においては、森林環境譲与税による森林整備や外国産材の価格高騰、SDGsの目標達成等に起因する国産木材需要の高まりに伴う森林施業が増大しており、基盤となる林道の開設・改良や、林産拠点(木材加工団地、バイオマス工場等)までのアクセス改善が望まれており、事業実施による効果は高い。									
今後の方針	追加等変更し、発展させる	市道については、計画に基づきスムーズな進捗を図り、事業効果が発揮出来るよう、地元や関係機関と調整を図りながら進めていく。 林道については、事業主体の変更等による事業費の増額及び予算の前倒し執行を行い早期に事業効果を発現させる方針としている。 また、今後はその方針に伴う地域再生計画の変更認可申請を行う予定である。									
評価	県営事業の林道開設工事に一部繰り越しが生じているが、素材生産は安定しており、市道ではバス路線の拡幅が一部実施され一定の効果が認められた。										

令和2年度 地方創生関連交付金事業  
 (※令和3年度へ繰越した事業内容を追記)

【交付金種別】地方創生整備推進交付金

NO		交付金対象事業名称	事業目的・概要								
3		元気で活力ある産業が育つまちづくり計画	本事業は、市道・林道の一体的な整備により、集落間のアクセス改善や災害時におけるバイパス道路の確保とともに、林業生産コストの削減を図り森林整備事業の促進につなげることを目的としている。 市道については、拡幅等により見通しの改善や離合場所の確保を図り、通行の安全性を考慮した道づくりを進めており、林道については、森林施業の効率化や迂回路としての役割を果たす新規路線の開設及び路面の洗掘等を防止し通行の安全を確保するため既設林道の舗装を行っている。								
		総合戦略の位置づけ									
		基本目標 1 しごとを創りだす未来創造戦略									
		事業開始 平成27年4月									事業終期 令和3年3月 (令和3年度へ一部事業の繰越)
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容					
				交付金	一般財源等						
1	地方創生道整備推進交付金事業	149,491,310	148,365,000	74,182,500	75,308,810	○市道 蕨野稲葉野線道路改良事業（線形改良） L=173m ○林道 長迫・小原線舗装事業（県営舗装） L=1,073m ○林道 西林・神陰線開設事業（県営開設） L=202m(R3繰越) ○林道 横瀬・広瀬線開設事業（開設） L=60m ○林道 熊山線舗装事業（舗装） L=750m					
合計		149,491,310	148,365,000	74,182,500	75,308,810						
重要業績評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	増加分累計
1	素材生産量（木材）の増加	百m <sup>3</sup>	223	目標値 実績値	224 251	226 249	229 190	232 240	235 305	235 242	1,381 1,477
2	商業施設、物流拠点等までのアクセス改善 市道 蕨野稲葉野線（集落から道の駅とうごうまで）	分	18	目標値 実績値	- -	- -	18 18	17 18	17 17	16 16	68 69
3	商業施設、物流拠点等までのアクセス改善 林道 長迫・小原線（市町境から木材加工団地まで）	分	42	目標値 実績値	37 38	33 34	29 31	25 29	24 25	22 21	170 178
4	商業施設、物流拠点等までのアクセス改善 林道 熊山線（林道終点から木材加工団地まで）	分	101	目標値 実績値	97 97	94 95	91 94	87 92	86 61	83 59	538 498
5	年間観光入込客の増加（道の駅とうごう等）	万人	36	目標値 実績値	36 42	37 43	38 40	39 40	39 40	40 38	229 243
事業効果	地方創生に効果があった	・素材生産量については、価格調整のため昨年度実績よりは少なかったものの、目標値は上回っており事業効果は確保できている。 ・アクセス改善については、補助事業の整備延長に若干の遅れは生じているものの、直営事業等を合わせた路面整備を行うことにより 全体的なアクセス時間の短縮を図ることができた。特に林道では、接続する他の林道等からのアクセス改善にも繋がっており、大きな効果が現われている。 ・地区内観光施設の観光入込客については、コロナ禍の影響が大きく、近年横ばい状況にあった約40万人を下回り38万人となったが、事業開始前の水準は上回っており、事業の効果は表れている。									
今後の方針	追加等変更し、発展させる	今年度（一部繰り越し事業あり）で事業完了となっているが、市道・林道の一体的整備は、農林業の効率化や安全性の向上が図れるとともに、国土保全に不可欠な森林整備を行いやすくする条件の改善や災害時の迂回路としての機能も充実することができる。 また、本地域の豊かな自然を生かした新たな地域観光ルートの掘り起し等も期待されることから、継続路線と新規路線を組み合わせ、新たな地域再生計画のもと、引き続き整備を実施する。									
評価	県営事業の工事に一部繰り越しが生じたが、コロナ禍においても、安定した素材生産や観光入込客の確保ができており、一定の効果が認められた。										